

有限会社大三宅自動車サービス工場

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年7月1日～2024年6月30日)



作成日：2024年8月1日
改訂日：2024年9月19日

有限会社大三宅自動車サービス工場

環境経営方針

有限会社大三宅自動車サービス工場(マツダオートザム倉敷中央)は、自動車販売・自動車整備を通して環境に配慮した事業活動を自主的・積極的に推進し、社会責任の一環として地球環境問題に取り組みます。

1. 環境に関する法規制を遵守します。
2. 限りある資源を大切にするため、省資源・省エネルギーに努めます。
(節水・節電・エコドライブの推進・エコカーの販売)
3. 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進します。
4. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
5. 日々作業効率改善に努め、時間短縮を目指します。
6. 環境経営目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
7. 全従業員にこの環境経営方針を周知徹底するとともに、環境経営レポートを作成し、公表します。

制定日：2013年6月1日

改定日：2024年8月1日

代表取締役社長 三宅 大樹

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

有限会社 大三宅自動車サービス工場
代表取締役社長 三宅 大樹

(2) 所在地

本社・工場 岡山県倉敷市白楽町246-6
倉庫 岡山県倉敷市白楽町99-4

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	落合寛宣	岡山県倉敷市白楽町246-6	TEL086-422-2690
担当者	落合寛宣	岡山県倉敷市白楽町246-6	TEL086-422-2690

(4) 事業内容

自動車販売並びに整備、自動車賃貸業、損害保険代理業務

(5) 事業の規模

従業員人数 16 人

	本社	倉庫	合計
従業員	16	0	16
延べ床面積	517㎡	250㎡	767㎡

(6) 事業年度

7月～6月

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名： 有限会社大三宅自動車サービス工場

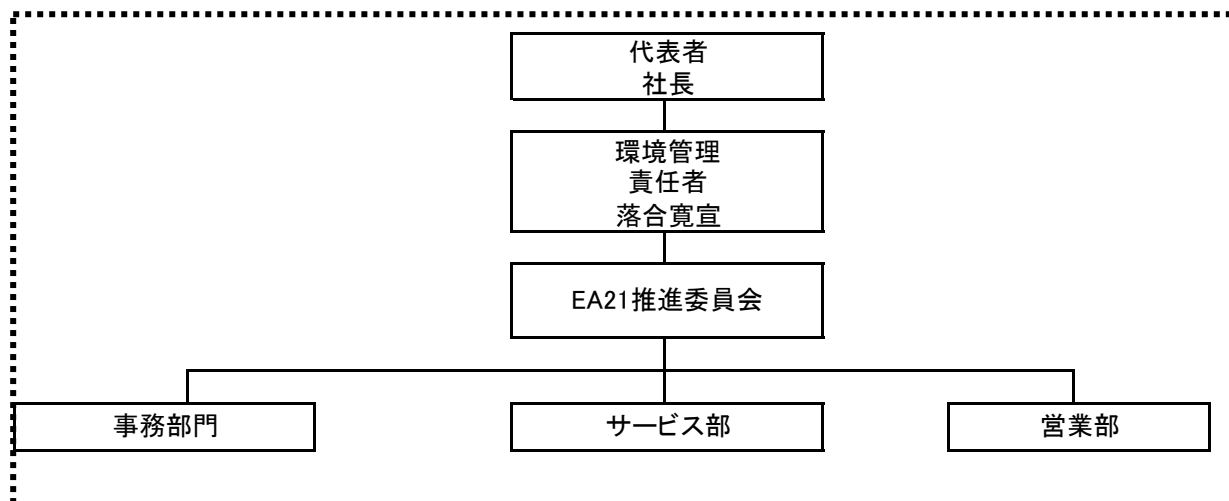
対象事業所： 本社・工場

倉庫

対象外： なし

活動： 自動車販売並びに整備、自動車賃貸業、損害保険代理業務

実施体制図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限	
代表者(社長)	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 - 環境経営のチャンス、時短の積極的な推進 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標・環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 落合	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標・環境経営計画書を確認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認
EA21推進委員会	- 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	- 環境経営活動計画の審議 - 環境活動実績の確認・評価 - 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 - 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	45,912	41,614	45,203	41,957	41,459
廃棄物排出量	kg	3,870	4,445	4,190	5,490	5,135
一般廃棄物排出量	kg	1,027	1,046	1,043	1,030	884
産業廃棄物排出量	kg	4,445	3,920	4,190	5,490	5,135
水使用量	m ³	329	306	303	307	316

※電力の二酸化炭素排出量換算値：0.738 kg-CO₂/kWh（中国電力 2012年度実排出係数）
二酸化炭素総排出量には灯油、LPGも含む

□環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		2012年度 (基準年度)	2021年度 (実績)	2023年度		2024年度	2025年度
				(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂ 基準年度比	42,888	28,271 69%	27,877 65%	29,800 69%	27,448 64%	27,020 63%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂ 基準年度比	15,356	16,557 75%	13,820 90%	11,486 75%	13,820 90%	13,820 90%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	58,244	44,828	41,698	41,285	41,269	40,840
一般廃棄物の削減	kg 基準年度比	786	1,043 133%	982 125%	884 113%	738 94%	731 93%
産業廃棄物の適正処理	—	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理
水道水の削減	m ³ 基準年度比	356	303 85%	299 84%	316 89%	295 83%	292 82%
クリーンディーゼル車の販売	台 基準年度比	15	21 +6	20 +5	13 -2	21 +6	22 +7

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度の 取組	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減			
・空調温度最適化	○	継続	目標未達成。昨今の異常気象で1年ほぼ エアコン作動させているので目標達成で きず。
・不要照明の消灯	○	継続	
・ノー残業デーの実施 毎週水曜日	○	継続	
・社員の自動ドアの使用制限	△	継続	
自動車燃料による二酸化炭素削減			
・アイドリングストップ	○	継続	目標達成。今後もエコドライブ10のすす めチラシを社内に設置し、エコドライブ の推進を向上する。
・エコドライブの実施	○	継続	
・代車のタイヤ空気圧の適正化	△	継続	
・代車の燃料補充のお願い	×	継続	
一般廃棄物の削減			
・分別の徹底	△	強化	目標達成。今後も左記取組を継続する。
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	継続	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	継続	
産業廃棄物の適正管理			
・分別の徹底	○	継続	目標達成。今後も左記取組を継続する。
・リサイクル化の推進	○	継続	
・ウェストオイル吸着マットの使用量の削減	○	継続	
水道水の削減			
・節水シールの貼り付け	○	継続	目標未達成。もう一寸努力するよう、こ れからもこの活動を続ける。
・節水弁取り付け	○	継続	
・洗車時の節水	△	継続	
・自動水栓取り付け	○	継続	
クリーンディーゼル車の販売			
・試乗車の展示	○	強化	目標未達成。今後はHVやMHVにシフトし ていく。
・解説DVDの試聴	△	強化	
時間短縮			
・作業効率の向上	○		残業時間の把握
・改善件数の増大	○		改善件数の把握
社会貢献			
・会社周辺の清掃活動	○	継続	定期的に継続していく
・			

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、廃油、汚泥等）	○
騒音規制法	コンプレッサー（3.7kW）	○
振動規制法	コンプレッサー（3.7kW）	○
消防法（危険物）	ガソリン、オイルの保管	○
グリーン購入法	環境物品等の選択	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検の実施	○
自動車リサイクル法	新車登録時又は廃車時、引取業 登録更新（5年毎）	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反、訴訟等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

出る予定の新型車がでず、電気デバイス搭載車の数が増えなかったため、今期発売になったので電気デバイス搭載車の数を増やしていきたい

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

2024年7月10日
代表取締役社長
三宅 大樹